

シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE31021	
科目名	細胞検査学	
科目名 (英語)	Cytopathology	
授業形態	講義	
標準履修年次	2 年次	
実施学期・曜時限等	春 C 学期 火・水曜日 3・4 時限	
使用教室	4B116	
単位数	2 単位	
担当教員名	野口雅之、坂本規彰、松岡亮太、河合瞳、水口剛雄、石井良征、 秋山 梓、南 優子、近藤 譲、村田佳彦、中川智貴	
備考	実務経験教員：野口雅之、坂本規彰、松岡亮太、秋山 梓、南 優子、 近藤 譲、村田佳彦、中川智貴	
使用言語 (☑してください)	☑日本語 ・ □英語 ・ □バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)		
オフィスアワー等	病院病理部・野口雅之・PHS 3750	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	
	医療	2. 人間の健康と疾病の理解 3. 臨床検査の知識と実践力
	国際	2. 人間の健康と疾病の理解 3. 臨床検査の知識と技術
授業の到達目標 (学修成果)	悪性細胞について正しいイメージを持つことができる。 細胞診が医療現場でどのように役立っているかについて理解する。	
他の授業科目との関連	病理組織学実習	
履修条件	なし	
授業概要	細胞検査（細胞診）は、患者への侵襲を最小限にして病理診断する液性材料を用いた検査法である。細胞検査学は、その基礎について学ぶものであり、検体の採取や処理法、染色法、細胞像による良性・悪性の判断、さらには病気や臓器による細胞像の違いについて理解し、細胞診による判断の基礎を学ぶ。細胞診はがん検診でのスクリーニングとして行われることも多いが、疾患の治療効果判定、経過観察、予後の推定などにも広く用いられている。医療現場での細胞診の意義を理解し、その将来を展望する。	
キーワード	細胞診、悪性細胞、細胞材料を用いた検査	

<p>授業計画</p>	<p>7/9 野口(細胞診専門医) 細胞診 総論</p> <p>7/10 村田(細胞検査士) 細胞診の検体処理と基本的な所見の取り方</p> <p>7/16 水口、秋山(細胞診専門医) 婦人科 腫瘍組織(水口)、婦人科 細胞診(秋山)</p> <p>7/17 野口(細胞診専門医)、村田(細胞検査士) 呼吸器 腫瘍組織(野口)、呼吸器 細胞診(村田)</p> <p>7/23 松岡(細胞診専門医)、石井 リンパ腫 組織(松岡)、皮膚 組織(石井)</p> <p>7/24 坂本(細胞診専門医)、村田(細胞検査士) 泌尿器(腎、膀胱、前立腺) 腫瘍組織(坂本)、 泌尿器 細胞診(村田)</p> <p>7/30 近藤(細胞診専門医) 乳腺・甲状腺 腫瘍組織(近藤)</p> <p>7/31 近藤(細胞診専門医)、南(細胞診専門医) 乳腺・甲状腺、リンパ腫 細胞診(近藤)、体腔液 細胞診(南)</p> <p>8/6 河合、中川(細胞検査士) 免疫染色の理論と実際(河合、中川)</p> <p>8/7 村田(細胞検査士) 細胞診材料を用いた遺伝子解析(PCR、FISH)</p>
<p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>	<p>講義 (100%)</p>
<p>単位取得要件</p>	<p>8割以上の授業出席と試験において合格点に達すること。</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>学期末の筆記試験などにより判定。</p>
<p>教材・参考文献・配付資料等</p>	<p>細胞診を学ぶ人のために (医学書院)</p>
<p>その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)</p>	